

2022年1月14日

日本合成アルコール株式会社

3カ年計画(2022～2024年度)策定について

当社は、合成アルコールの安定供給の責務を果たすために、2022年度から2024年度までの3カ年計画を以下の通り策定いたしましたので、お知らせいたします。

2022年1月

日本合成アルコール株式会社

3カ年計画（2022～2024年度）

I. 基本方針

「中期5カ年ビジョン(2019～2023年度)」策定以降、三菱ケミカル株式会社の合成アルコール事業の終了(2022年2月予定)等、ビジョン策定時に想定し得なかった大きな変化が生じております。本計画は、当社が合成アルコールを取り巻く事業環境の構造変化に柔軟に対応できる製造・販売体制を構築し、東日本はもとより西日本のお客様にも合成アルコールの安定供給の責務を果たすことを目標とするものです。

II. 主要施策

1. 合成アルコールの全国向けの柔軟な供給網の整備

(1) J S Aの生産能力強化

① 無水アルコール新製造設備の建設

無水アルコール製造設備の新系列(新設設備能力 21,000KL/年)を 2022 年度末までに増設します。

② D C Sの更新

生産の変動に対応して最適な運転が可能となるよう制御システム(DCS)を 2025 年度の更新に向けて取り組みます。

③ B合成反応塔の増強更新

合成アルコール市場の成長にあわせて、2026 年度以降における B 合成系列の反応塔更新等による供給能力追加(10,000KL/年)を検討します。

(2) 西日本へのサプライチェーン管理

① 西日本の合成アルコールは日本アルコール販売による一元的な販売

日本アルコール販売にて、神戸、門司及び四国に加え、新たに名古屋に出荷拠点(CTT名古屋(仮称))を設置します。

② グループ在庫能力の増強

合成アルコールのグループ在庫能力を 32 千 KL に増強します。

(3) 低廉な合成アルコールの供給

2021 年度から供給力の強化に関する無水アルコール新製造設備の設置投資等を緊急に実施しておりますが、これらの投資は全て自己資金で賄い、償却負担についてお客様の負担を回避するなどし、価格の低廉・適正化に努めます。

2. 計画的な修繕の実施

安定供給を確保するため、重要設備機器に関する特別点検を通じて、計画的に修繕を実施するほか、CUI(保温材下の外面腐食)検査の 2024 年度未完了を目指します。

3. 品質管理の徹底

唯一の国産合成アルコールメーカーとして、国内合成アルコール規格(アルコール協会規格等)適合の確保、コンタミネーション及び異物混入等の防止の観点から、出荷からお客様ごの持ち届け先まで、メーカーが責任を持つ体制を構築します。

なお、西日本のお客様に対しても、速やかに当社が品質検査表を発行する予定です。

4. お客様ニーズに即した組織的な営業

具体の顧客ニーズを真摯に受け止め、メーカー・販社・物流一体となって、その充足に努め、継続取引先の維持を図ります。とりわけ、必要数量の確保及び納入期日の厳守、品質の信頼性向上、低廉な価格を今後とも実現し、日本全国のお客様との継続取引に努めます。

以 上